

福島選手と一緒に汗

陸上スクールに500人

本格的な屋外スポーツシーン入りを前に、陸上競技の「タグホーム・クレイマー陸上スクール」が7日、明治北海道十勝オーバルで開かれた。小学生から高校生まで約500人が参加。

動画あり
かちぞ/または
勝毎電子版で

幕別町出身で五輪に2度出場した福島千里さん(道)

イテクAC―帯南商高出と、昨年の日本選手権女子400メートル覇者で東邦銀行コーチの佐藤真有さん(帯南商高出)もゲストとして加わり、一緒に汗を流した。10回目の開催。帯広の森陸上競技場で開催する予定だったが、荒天のため同オーバルで行った。開講式では200メートルと400メートルの日本記録保持者で日本陸連強化委員長の前田康弘氏や福島さんらがあいさつ。福島さんは「雪国の北海道では室内のトレーニングはとも身になる。一つひとつ真剣に楽しくやりましょう」と笑顔で話した。4グループに分かれた参



福島選手(左から2人目)と一緒にトレーニングする参加者(7日午前9時15分ごろ、塩原真撮影)

加者を前に、福島さんはデモンストレーションで何度も疾走。目印に置いていたスティックを整えるなどの

作業にも積極的に取り組み、佐藤さんも丁寧に足のさばきなどを指導した。(北雅貴)